

- ①市町村および地域包括支援センター地域支援事業担当者や介護支援専門員を対象にした認知症作業療法啓発活動
- ②認知症の人と家族の会のつどいにおける相談対応
- ③認知症カフェの企画運営
- ④認知症普及啓発活動（認知症スタンプラリー企画運営や認知症フォーラム支援）
- ⑤作業療法士を対象とした実技研修や情報交換会（人材育成）

以上を計画し実行している。

フォーラムにおいては、作業療法士会のポスターを掲示したり、相談コーナーを設けて、認知症作業療法の普及啓発につなげている。また今年度も専門職としての立場で『つどい』に参画している。その中で人材育成も兼ねて同行見学も行っている。

9月の「認知症月間」に
 合わせ、認知症の日に
 合わせて、八月の参院選を
 中心に、一定期間、オレン
 ジ色にライトアップされる
 館内に、今年まで「認
 知症に関する展示も実施
 し、地域の関心と理解の高
 まりを旨とする。
 国際アルツハイマー病協
 会（WHO）と世界保健機
 関（WHO）は2004年
 に、9月21日を世界アルツ
 ハイマーデーとし、啓発活
 動を開始した。日本で
 は昨年1月に、共生社会の
 実現を目指す「認知症
 施策推進法」が成立し、

オレンジ色にライトアップされた八戸市総合保健センターと、認知症の目をアビールする「認知症の人と家族の会青森県支部」のメンバーら

[illegible]

A group of children and adults are seated at a white table, engaged in a craft activity. They are using colorful paper, glue, and scissors to make paper flowers. A sign on the table reads "紙の花" (Paper Flower). The children are focused on their work, and the adults are assisting them. The background shows a large, open space with other people and tables, suggesting a community event or festival.

住民を対象に、認知症の理解と認知症作業療法啓発を目的として今年度も開催している。また、参画いただいた専門団体との顔の見える関係づくりにも結び付いている。

認知症カフェは3年目に突入している。作業療法士の視点で企画運営しながら継続開催している。

